01 北斗国際交流事業組合 中国人実習生集合講習開講式

北斗国際交流事業組合を通じ村内水産加工場で実習を開始する中国人実習生53名が猿払村を訪れました。

4月30日には生活改善センターで集合講習が開講され、日本と中国の親睦を深める意味で大切な事業として、実習生をあたたかく迎えました。

実習生は約1か月間の講習で日本の文化や言葉を学び、受け入れ先の各水産加工場に配属され、3年間の実習に励みます。

02 イトウの産卵観察会

5月6日、猿払エコクラブの猿払イトウの会主催によるイトウの産卵観察会が行われました。

今年は猿払村内の小中学校の先生方を対象に、NPO法人りねっとの山本牧氏、アメリカワイルドサーモンセンターのピート・ランド氏を講師に招き、猿払村の自然が世界的に見ても貴重なことなどを分かりやすく解説していただき、その後森の中を散策し、イトウの産卵を観察しました。

03 道の駅さるふつ公園まつり

5月4日、さるふつ公園道の駅管理棟イベント広場で、猿払村観光協会主催による道の駅さるふつ公園まつりが開催されました。

村内の各種団体が出店し、観光客から特に人気の絶品ほたて貝焼きや温かいそば、おやき、焼きたてのパンなどを販売。

村内外から約500名の人々が訪れ、活気あふれるイベントと猿払特産品の味覚を満喫しました。

04 マダム・ケロコ氏 「立ち居振る舞いをもっと素敵に」

5月17日、鬼志別保育所で研修会が開催され、村民40名が参加しました。

講師としてマダム・ケロコ氏をお招きし、より良い接遇の方法について学びました。

参加者は自分の振る舞い方を振り返り、「心」ある態度の大切さや誠実さはにじみ出る…ということを再確認することができた様子。

楽しい余談もあり、終始笑顔に満ちた研修会となりました。

05 環境に優しく―前浜清掃

5月19日、海岸線の清掃活動が実施されました。

漁業関係者や自治会連合会ボランティア総勢271名が参加し、昨年の1.5倍の量である約8.5トンものごみを収集することができました。

今後も日本有数の海産物の揚げ量・品質を誇る美しい海村を維持するべく、継続した取り組みを検討していますので皆さんのご協力をお願いします。

06 開村90周年記念協賛事業 猿払青少年剣道大会

5月19日、スポーツセンターで猿払剣道連盟・少年団父母会主催による猿払村開村90周年記念協賛事業「第7回猿払青少年剣道大会」が開催されました。

道北地方各地から集結した48名の青少年剣士達の真剣な闘いを前に、会場からは熱い声援と声援が送られました。

試合開始前には、剣道界において輝かしい功績をお持ちの八段佐賀豊氏と教士7段々木親司氏から熱心な指導をいただきました。

07 春季合同消防演習

5月19日、浜猿払漁港で春季合同消防演習が実施され、猿払消防団員や消防猿払支署職員あわせて107名が参加しました。

今年は開村90周年を記念し、7色ものカラー放水を披露し見学者を魅了。消防ポンプ操法等、本番さながらの見応えある演習は、日頃の訓練の成果がうかがえる出来栄えでした。

また、演習後は永年の消防活動等に対する表彰式が執り行われ、受賞者の功績を称えました。

08 スーパー公務員 高野誠鮮氏 「可能性の無視は最大の悪策」

5月23日・24日、交流センターで猿払村職員研修会が開催され、村職員に限らず村議会議員や村民、近隣市町住民あわせて160名が参加しました。

講師として、石川県羽咋市教育委員会 高野誠鮮氏をお招きし、農産物のブランド化と過疎地域を活性化させた様々な手法やその成果をお話しいただきました。

〝できない理由を考えない〟〝「失敗」と「成功」は紙一重、するとしないは雲泥の差〟など多くの胸に響く言葉をいただき、参加者は今後の職務に活かそうと真剣に聴き入っていました。